

明治大学図書館情報学研究会

2023年度第1回例会

日 時：2023年6月24日（土）10:50-12:30

会 場：明治大学和泉キャンパス第一校舎203教室

塩崎 亮氏（聖学院大学教授）

ドキュメント理論とデジタル保存

●発表要旨

ソーシャルメディアのコンテンツなど、これまでにない規模・範囲で生成／共有されるようになってきているパーソナルな（個人の／私的な／一人称で記録された）デジタルドキュメントは、誤情報・偽情報を含め、現代社会の諸相が記録された資料群のひとつといえ、将来的に貴重な史料となるかもしれない。しかし、それらを長期的に利用可能とする社会的な仕組みが現状整備されているとはいえず、第三者が保存するとなれば法的・倫理的な課題が生じてしまう。それらドキュメントを文化遺産機関が収集保存する意義が仮にあるとしても、はたして、その取り組みは社会的に許容されるものだろうか？ 仮に許容されるとしても、費用対効果の観点からは正当化できるものだろうか？あるいはそもそも、さまざまな再生環境・技術や認識主体に依存して存在しているデジタル形式のドキュメントを「保存」できているとみなせるのは、一体どういう状態のことを指すのだろうか？ 図書館情報学における「ドキュメント理論」にもとづき、このような問いについて考えてみたい。

●発表者略歴

長崎県長崎市出身。聖学院大学基礎総合教育部教授（図書館情報学課程担当）。学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻非常勤講師。元国立国会図書館職員。最近の主な関心事は、デジタル保存、ドキュメント理論、パーソナルデジタルアーカイビング。共著書に『図書館情報技術論 第2版』（ミネルヴァ書房, 2022）、訳書に『図書館情報学概論』（勁草書房, 2019）などがある。

問合せ先：shisyo@meiji.ac.jp（学生以外の方の申込締切：

6月19日（月）※先着10名。事前申込が必要です。参加無料）

<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~shisyo/>